

計量経済 II：期末試験

村澤 康友

2018 年 1 月 23 日

注意：3 問とも解答すること。結果より思考過程を重視するので、途中計算等も必ず書くこと（部分点は大きいに与えるが、結果のみの解答は 0 点とする）。

- (20 点) 以下の用語の定義を式または言葉で書きなさい（各 20 字程度）。
(a) (仮説の) 採択 (b) t 検定 (c) 自由度修正済み決定係数 (d) $(y_i$ と $(x_{i,1}, \dots, x_{i,k})$ の) 重相関係数
- (30 点) $N(\mu, \sigma^2)$ から抽出した大きさ n の無作為標本の標本平均を \bar{X} とする。 σ^2 を未知として次の両側検定問題を考える。

$$H_0 : \mu = 0 \quad \text{vs} \quad H_1 : \mu \neq 0$$

有意水準を 5 % とする。

- 検定統計量を与えなさい。
 - 検定統計量の H_0 の下での分布を導きなさい。
 - $n = 20$ として検定の棄却域を定めなさい。
- (50 点) ゴルトンは身長遺伝を研究した。父親と息子の身長の無作為標本を $((x_1, y_1), \dots, (x_n, y_n))$ とする（単位はインチ）。 $\ln y_i$ の $\ln x_i$ 上への単回帰モデルは

$$E(\ln y_i | \ln x_i) = \alpha + \beta \ln x_i$$

回帰分析の結果は以下の通りであった。

モデル 1: 最小二乗法 (OLS), 観測: 1-928

従属変数: l_child

	係数	標準誤差

const	1.49881	0.174995
l_parent	0.644298	0.0414309

β の OLS 推定量を b , その標準誤差を s とする。また $b \overset{a}{\sim} N(\beta, s^2)$ とみなしてよい。

- b の値は幾らか? s の値は幾らか?
- β の 95 % 信頼区間を求めなさい。
- β の t 値を求めなさい。
- 身長遺伝の有無の検定問題を定式化しなさい（問題意識を踏まえること）。
- 有意水準 5 % の検定の棄却域を定め、検定を実行しなさい。

解答例

1. 統計学の基本用語

- (a) 仮説を偽とは言えないと判定すること.
(b) t 統計量を用いる検定.
• t 統計量の定義のみは 2 点.
(c)

$$\bar{R}^2 := 1 - \frac{\text{RSS}/(n-k)}{\text{TSS}/(n-1)}$$

- (d) y_i と回帰予測 \hat{y}_i の相関係数.

2. 母平均の検定

- (a) 検定統計量は

$$t := \frac{\bar{X}}{\sqrt{s^2/n}}$$

ただし s^2 は標本分散.

- 未知母数があると統計量でないので 0 点.

- (b) H_0 の下で

$$t \sim t(n-1)$$

- (c) H_0 の下で $t \sim t(19)$ なので, t 分布表より

$$\Pr[t \geq 2.093] = .025$$

したがって棄却域は $(-\infty, -2.093] \cup [2.093, \infty)$.

3. 回帰分析

- (a) $b = .644298$, $s = .0414309$.
(b) $b \stackrel{a}{\sim} N(\beta, s^2)$ より

$$\frac{b - \beta}{s} \stackrel{a}{\sim} N(0, 1)$$

したがって

$$\Pr \left[-1.96 \leq \frac{b - \beta}{s} \leq 1.96 \right] \approx .95$$

または

$$\Pr[-1.96s \leq b - \beta \leq 1.96s] \approx .95$$

または

$$\Pr[b - 1.96s \leq \beta \leq b + 1.96s] \approx .95$$

したがって β の 95 % 信頼区間は $[\cdot 563, \cdot 726]$.

- (c)

$$\begin{aligned} t &= \frac{b}{s} \\ &= \frac{.644298}{.0414309} \\ &\approx 15.55 \end{aligned}$$

(d)

$$H_0 : \beta = 0 \ (\alpha \in \mathbb{R}, \sigma^2 > 0) \quad \text{vs} \quad H_1 : \beta > 0 \ (\alpha \in \mathbb{R}, \sigma^2 > 0)$$

(e) 棄却域は $[1.645, \infty)$. t 値が棄却域に入るので H_0 を棄却して H_1 を採択. すなわち身長は遺伝すると言える.